

試料直接注入カラムスイッチングHPLCによる
組織ホモジネート中のプロプラノロール,
4-ヒドロキシプロプラノロールの定量

玉井 元, 今井日出夫

Chem. Pharm. Bull., 38, 810-811 (1990)

**Determination of Propranolol and 4-Hydroxypropranolol
in Tissue Homogenate by Direct Injection
and Column Switching HPLC**

Gen Tamai and Hideo Imai

抄録 組織ホモジネート中ではプロプラノロールの代謝体, 4-ヒドロキシ体が速やかに空気酸化されるので, 血液中の分析法を提案した前報 (*Biomed. Chromatogr.* 3, 192 (1989).) の方法を改良した。生体組織は氷冷下, pH3.0で0.25Mしょ糖溶液中でホモジネートとした。HPLCはガードカラム (TSK, HW-65C充填), プレカラム (TSK, SP-SW), 分析カラム (ODS) をカラムスイッチングする。両者は別々に自己蛍光で検出される。検出限界は母薬で0.13ng, 代謝体で0.28ng, 回収率は100%であった。マウス腹腔内投与後, 0.5, 1, 2hに亘る肝, 腎, 心組織中の分析データが得られている。